

京都教区時報

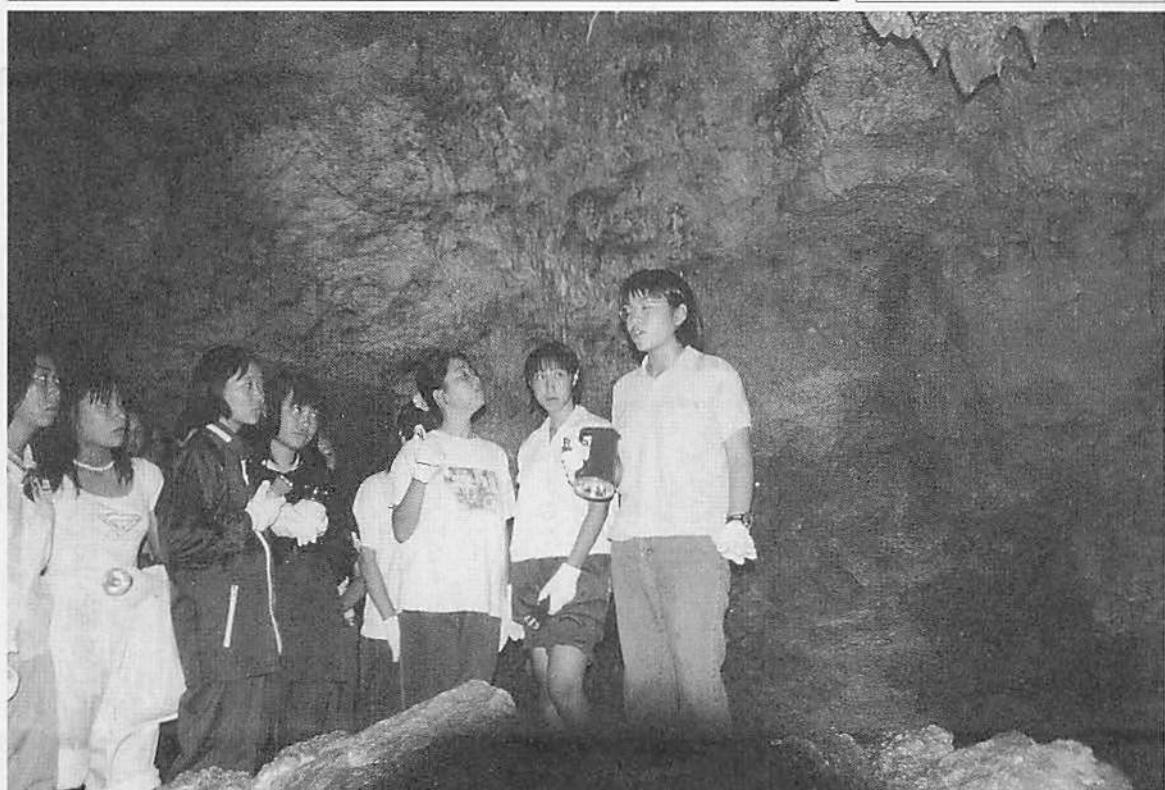
Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp>

3頁 生涯養成講座(奈良北部)

6頁 聖書講座・池長大司教

発行 京都司教区
責任者 村上透磨
京都市中京区河原町
三条上ル
カトリック会館
FAX
075-211-3041
「教区時報」宛と明記

点訳版「京都教区時報」(無料)
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまで申込みください。
TEL・FAX 0794-31-8601



(写真は、メリノール女子学院高等学校的沖縄への修学旅行でのガマ『壕』体験学習の場面です)

布教という言葉に代わって、福音宣教という言葉を使うようになりました。イエス・キリストの弟子である私たちは、自分たちの回りにある福音の芽生えを発見し、共に喜ぶのです。

平和への取り組み、体験学習、ボランティア活動、社会福祉活動、教育活動など、身近なところに福音的な小さな芽生えを見つけることができます。

第2バチカン公会議以前、教会では布教という言葉がよく使われていました。福音を知らない人々に、福音の種を蒔くことがイエス・キリストの弟子の役割と考えられました。

しかし、第2バチカン公会議では、福音の種は神がすでに蒔いておられて、教会以外のところにもすでに福音の芽生えがあることを確認しました。

福音的な 小さな芽生えの発見

共同宣教司牧司教訪問

三重地区・南勢ブロック

三重地区南勢ブロックの共同宣教司牧・司教訪問が伊勢教会で六月九日（日）に行われ、当曰は、ミサ、集会、昼食会という順序で進行した。

ミサは、大塚司教様の司式により、西野師、西村師、柳本師の共同司式で行われた。ミサ参加者は一六五名、ミサ中の説教で、司教様は「洗礼を受けるということはキリストから福音宣教に派遣されるということであり、その使命を自覚し、意識することが大切である。イエスが共に食事をされた罪人とは、社会から無視され、疎外されている人々である。社会的弱者に目を向け、手をさしのべる壯士に目を向け、手をさしのべる壯士なる必要がある」と強調された。

集会では、最初に、司教様から
共同宣教司牧についての説明が約
三十分あった。要旨は「現代は、
各国において複数の司祭が、複数
の小教区を共同で司牧するようにな
ってきた。司祭だけ共同司牧を行
い、宣教するのではなく、信徒
も共同して宣教する使命があるか
ら、その意味で、「共同司牧」に



『宣教』を付け加えて『共同宣教

滋賀地区・湖東ブロック

1. 司教講話

「誰が何をするのか」がポイント

下達の共同体であつてはならない。共同宣教司牧にはエネルギーが必要である。人間的経験、思惑、打算で活動しないで、神への従順、信仰を持って実行する。内的な力を保持するために祈り、秘跡を受ける必要がある』。

昔、ヨーロッパでは生まれると音化するための道具として使いやすいように変わった。これが宣教者となることを大にしたのである。教会は社会を福音化するための道具として使いやすくなる必要がある。

3 司教コメント

①湖東ブロック全体で福音化することが大切。

②信徒数の多い草津が他の小教
派を凌ぐに至る。

③ ブロックが今後どの方向へ進

もうとしているかが大切。
④大切なことは一人ひとりが変わることである。

4. 質疑應答

Q 伝えるべき福音とは何ですか。
A 神の視点から自分たち教会の

していること及び自分に何ができるかを見直すことが大切である。

社会に送り出すことが仕事である。
教会の福音宣教（らす）の組織のあ

生涯養成講座 事例紹介

入門講座の出来る信徒の養成

奈良地区北部ブロック 須藤泰子

教区時報編集部では、共同宣教司牧の十四のブロックにおいて、教区の宣教の優先課題の一つである「生涯養成」に関する取り組みとして、どのような公開講座が行なわれているかを調べました。

今から、その中のいくつかの講座について、事例紹介として報告記事をいただき、紹介いたします。

奈良地区北部ブロックにおいて、掲題勉強会が二〇〇〇年四月スタートしました。対象は将来入門講座を担当する可能性のある信徒及びすでに担当経験のある信徒で、四つの教会（登美ヶ丘・富雄・大和郡山・奈良）から二十三名が参加しています。指導スタッフは松本秀友神父、ウイックス神父、スター日宇、カテキスト花岡の四名で、指導内容として、シスター中島その枝（マリアの宣教者フランシスコ会）のテキストが使われています。テキストの内容は三期構

成です。

I イエス・キリストと出会い、彼の弟子、彼の友となる。

計二十三課

II ともに神の国をめざして（キリスト者の生活）。 計 十七課

III 神の似姿に作られた自分への旅。 計 十課

各期始めにシスター中島の一日研修会があり、その後月二回、第二・第四土曜日の各二時間、奈良教会で勉強会が行われます。各教会のメンバー二、三人がチームで担当し、他のメンバーを前に、求道者に伝えるつもりで実際に話します。一方的に話すではなく、エクササイズによる分かち合いを中心とし、求道者・信徒両面の立場から掘り下げてゆきます。参加メンバーは信徒歴の長短さまざまです。受洗当時を思い起こし、体験を語り、人それぞれの個性的な神との出会いを分かち合います。

この後皆で振り返り、講座の助ける資料や情報の交換が行われます。

指導スタッフよりコメントを頂きました。講座の各テーマに込められた意図・メッセージについて正しい理解と進め方を学びます。

木曜日の二クラスあり、今年の復活祭で、二名の方が受洗されたことは大きな喜びでした。

講座に参加している多くの方は、イエス・キリストとはどのよ

うな方なのか、私を本当に救ってくれるのか、純粹に問い合わせ聖書について、周到な準備をします。

シスター中島は「自分の信仰体験を自分の言葉で、喜びをもって相手の立っている場に応じて伝えること」と語っています。メンバーワークのものもつ信仰体験がチームとして熟成されていく過程が準備期間となります。指導スタッフの助言を受けながら、一時間余りの講座の詳細プログラムを作ります。

勉強会当日は聖霊のはたらきを祈りつつ進めていきますが、皆の前で信仰告白をしている自己に気がつくのです。

現在二年と数ヶ月経ましたが、II期の終盤にさしかかっています。

III期は来年春頃終了の予定です。

一方二教会では、求道者対象に

この入門講座が始まっています。

スタッフは所属教会の垣根を越えて協力する場合もあります。私は

大和郡山教会の講座を昨年五月よりお手伝いさせて頂いています。

チームのパートナーは講座経験豊かな方で、共に体験できる喜びを感じています。当教会では日曜日・



各養成コース

ご案内



福音センター
ニュース

沖に漕ぎ出そう

一緒に生きるいのちに生かされてー

教会が社会の隣人となる

『もっとも助けを必要としているものの隣人となられた』イエスによって『新しい命に生きるものとされた』私たちが『その主にならうように』招かれています。その招きに個人として又、共同体として応えていくことを願って様々なコースを企画しています。

☆病人訪問コースⅠ・Ⅱ… “私が隣人となる”

コースⅠでは、自分を知り、他者の苦しみに気づけるよう聴くあり方を基本に、癒されるかかわりにつなぐ病者訪問の心得を学びます。

コースⅡでは、病床にある方が、最後までその人らしく生きてゆくために命を越えたもの、見えないものを観る感性を育てる事をを目指して共感して聴く実習、援助のあり方を学びます。講師の沼野尚美さんのお話は現場での経験に基づき、具体的で分かりやすく病人や高齢者と関わっておられる方々のみならず人間としての生き方、あり方を考える大きな助けとなっています。

自分で出来る
事があるとい
う希望が沸い
てきた。

(参加者の声)

☆祈りのコースⅠ・Ⅱ… “私のもとに来るがよい”（マタイ 11:28）

活動の源泉は祈りにあります。祈りとは何かに始まり様々な祈りを体験しながら神さまの心を知り、イエスとの親しさを深めていきます。個人の祈りの体験が、祈る共同体、分ち合いから識別できる共同体につながる道を開いてくれるでしょう。

散歩の祈りが役立った。周りの
状況が変わっていないのに気持ち
がラクになった。

☆典礼コース… “私の記念としてこれを行ひなさい”（ルカ 22:19）

記念を行うとき救いの力が私たちの内に働きます。みことばとしを通して信仰の喜びを感じとり、生活の支えとなる典礼を学びます。

みことばに
親しめるよ
うになった。

福音センターニュース

☆自己発見シリーズ… “自分を愛するように隣人を愛せよ” (マタイ 19:19)

「自分を愛する」ってどういうことでしょうか。

自分づきあいは一生の課題です。誰よりも近い自分、神の器であり賜物である自分、そんな自分が日頃何を感じ、真に必要としているものは何か等、心の深みに寄りそって、自分や他人を大切にすることがどういうことか学んでいきます。

自分にも優しくなった。
方向性が見えてきた。
日々充実感がある。

☆結婚講座…… “愛はすべてを完成させる絆です” (コロ 3:14)

このコースは教会で結婚式を挙げようと望む方あるいは結婚について考えてみたい方のために、5人の講師と共に様々な角度から結婚を考えます。

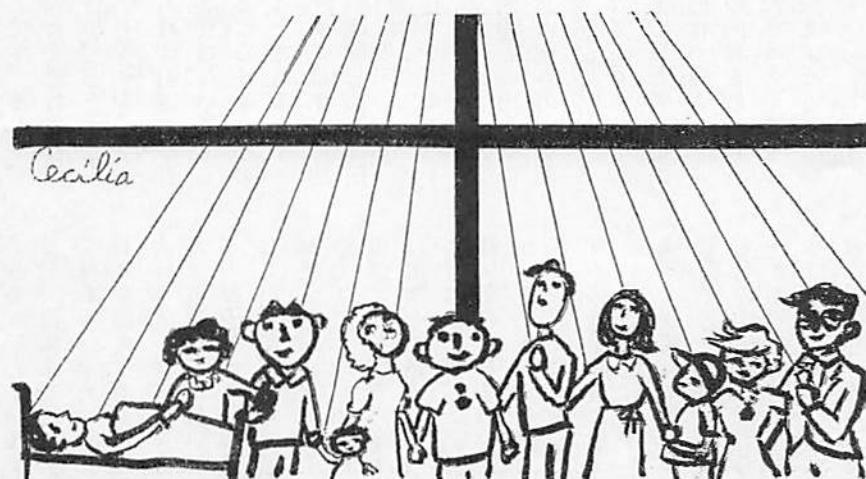
- ① 旧約聖書の創世記に表れた根源的な人間観
- ② 結婚式の式次第にこめられた教会の結婚観
- ③ 男女の「からだ」の相違を通して、いのち・性の神秘
- ④ 共に生きる夫婦の対話の重要性を体験
- ⑤ 結婚という人生を生きるために

二人で真剣に
向き合う機会
となった。

☆出前コース…… “私たちは神の家族です” (エフェソ 2:19)

福音をよく理解するために共同体として共に学び合い分ち合えるように、グループのニーズに沿ったプログラムを企画いたします。

分ち合いによって
救いを感じられる
ようになった。



聖書講座シリーズ「一〇〇匹の羊の群れ」5／15・16
イエス・キリストご自身 池長潤大司教



ここに掲載される弟子論の後に
テーマにそつた本論に多くの時間
がさかれましたが、割愛させてい
ただきました。

福音書の各著者は歴史の事実を
そのまま伝えることを意図してい
ません。彼らは自分達が神に導か
れ、イエスへの理解を深め、信仰
を伝えるために書き、編集して納
めた。これが福音書です。それゆ
え各著者に神学があると言われる
わけです。たとえば弟子の神学と
いうものをマルコ、マタイ、ルカ、
ヨハネがそれぞれ持っています。
イエスの弟子とは何かという信
仰内容ですが、福音書が出来上が
った順に見ていきましょう。マルコ
三章十三～十五節に、イエスが十
二使徒を選ばれた時のことが書か

てあります。「弟子は師のようにな
ります。」「二十四～三十三節を見て下
さい。」「十章全体が弟子の神学の章となっ
ています。」「弟子は師のようにな
らなければなりません。」「しかし
も主のようになればそれ
で十分である」とイエスは言いま
す。さらに「家の主人がベルゼブ
ルと言われるのならその家族のも

の忠実な弟子であれば迫害する者
がいても恐れる必要はない、もし
恐れるものがあるならイエスとの
絆が薄れていくことであるとイエ
スは言います。マタイは弟子の認
識をこれほど深く理解し私達に伝
も共通して強調されています。つ
まり弟子の本質は「イエスとずっと
一緒にいるということ」で、こ
れがかけるとイエスの弟子とは言
えないということです。イエスの
公生活の間、弟子達は二十四時間
一緒にいます。そして、復活後も
それは大事なこととされ、ずっと
一緒にいる人ほどイエスの弟子な
のです。

マタイの弟子論は、マタイ十章
二十四～三十三節を見て下さい。
十章全体が弟子の神学の章となっ
ています。「弟子は師のようにな
らなければなりません。」「しかし
も主のようになればそれ
で十分である」とイエスは言いま
す。さらに「家の主人がベルゼブ
ルと言われるのならその家族のも

のどもはもっとひどく言われるだ
ろう」と。つまり、自分の命をな
げうって本当に家のものになつて
ほしいということです。そして、
二十六節から「人々を恐れてはな
らない」という言葉がでてきます。
「恐れるな」という意味は、自分
宣教に派遣するため、第三に悪霊
を追い出す権能を持たすためです
が、マルコの弟子についての一番
の認識は、イエスの側でずっと一
緒にとどまる人です。このことは
マタイ、ルカ、ヨハネの福音書で
も共通して強調されています。つ
まり弟子の本質は「イエスとずっと
と一緒にいるということ」で、こ
れがかけるとイエスの弟子とは言
えないということです。イエスの
公生活の間、弟子達は二十四時間
一緒にいます。そして、復活後も
それは大事なこととされ、ずっと
一緒にいる人ほどイエスの弟子な
のです。

ヨハネはどうでしょう。ルカ二十
四章十三～四十九節を見て下さい。
エマオに行く弟子達との出会いの
場面です。イエスは彼らの心を開
いて聖書の言葉を語り聞かせます。
これは師と弟子の関係です。復活
後もイエスは弟子とした者にこの
ように生涯個人的につきあい、ま
た個人的に聖書の内容を教えられ
ました。こうしたイエスの姿をル
カはこの箇所で伝えようとしてい
ます。

最後にヨハネ第一の手紙一章一
四節を見て下さい。第一の手紙
の序文の部分です。私が見たこと、
聞いたこと、直接手で触れてさわ
ったことをあなた方に伝えるとヨハ
ネは言います。なんのことをいつ
ているのか、これは公生活の間だ
けの関係ではなく、復活後もずっと
と現在にいたるまで「私はイエス
を見、直接手で触れそしてさわっ
て味わう、そういうイエスとの交
わりが絶えなかつたのだ」と言
うかつたのです。ですから、ヨハ
ネは自分自身が毎日御父との交
わり、御子イエスとの交わりを体験
しているのだから読者にもその体
験を追体験してほしいのだという
のです。そのためヨハネはイエス
の遺言としてヨハネ十四～十六章
に編集して納め、その中で「どの
ようにして御父と直接交わるか、
御父を直接みるか、交わりを持つ
か」ということを繰り返し、ヨハ
ネの日常におけるイエスとの交
わりの体験を読者に伝えたかったの
です。ですからみなさんこの章を
ゆっくり読んで下さい。パウロも
「もはや私ではなくイエスがいつ
も私の中に生きておられる」と言
います。ヨハネ十五章のブドウの
木のお話でもそうです。イエスが
どんなに私達と身近で深い交わり
があるか福音書の著者は自分の体
験をとおして描いています。福音
書という神の摂理を残された私達
はそのとおりの信仰をもつて毎日
幸せに生きたいと思います。

こんにちはシスター

体作りを目指し、地域と会に開かれたコミュニティとする。

ノートルダム教育修道女会 東九条修道院

Sr. ヴィアージニア渡辺(前列)
Sr. バトリアシア 久野(後列)



私の修道院は一九九二年、次のような趣旨で発足致しました。

1. 新たにそこで使徒職を始めるのを目的とせず、その地域に住み、その方々と共に生活することを学ぶ。
2. そこで学んだことによって現在の使徒職が、一層、豊かにされることを望む。
3. その地域の方々に、主キリストの救いの喜びが伝わるのを望む。
4. 主キリストを中心とした共同

修道院は、二階建て日本家屋の借家です。三名のコミュニティで発足ましたが、使徒職などの都合で現在は二名で共同体を作っています。

一人は「のぞみの園(東九条特別養護老人ホーム)」と「希望の家」で使徒職を行っています。また、その関係で、病気の方々を訪問したりしています。一人はノートルダム女学院で、勤務していますが、聖書の集いの場を持ったり、近所の方とお習字をしたりしています。

お風呂がありませんので、銭湯はご近所の方々と交わる一つの場となつております。ここでの生活も十年目になります。大きなイタチがドタドタと屋根裏を走り回りますが、おかげでネズミはいなくなつたようです。雨が降ればお隣の洗濯物を取り入れたり、また、取り入れてもらつたりというような生活を楽しんでおります。

お気軽に立ち寄りくださいま

福祉の窓

児童福祉施設 長浜カトリック保育園

とを心に留めて……。
道端のちいさな花・風のざわめき・虫たちの営み等々……。

子どもと一緒に目と耳を傾ける余裕を心がけたいと思っています。

子どもをとりまく大人たちが心穏やかに日々を過ごすことができますよう神様お導き下さい。

園児:二百十二名
職員:四十四名

保育時間:朝七時~夜六時半

FAX:〇七四九(六三)七七七五

滋賀県長浜市南高田町四七

電話:〇七四九(六二)一四九九

「今」を生(育)きる
子どもは神様の子として豊かに伸びていく可能性を秘めています。その子供たちがすこやかに育つよう日々保育の中で一つ確かめています。
保育目標
愛:人そして自然界すべての生き物を、大切にするやさしいところをもつ。
科学:ものごとをみきわめる目、探求心をもつ。
芸術:感性(喜怒哀楽)を育て、表現する。
感謝:どんな時も「ありがとう」の気持ちをもつ。

近年子どもをとりまく大人社会が大きく変わり、子どもへの負担が多く感じられます。

自分の思いを充分伝えることができない子どものストレスが、病気となってあらわれます。大人は「今」を次の時のための手段としている現状。

「今に留まることで子どもとの関係の質が大きく変わること



お
知
ら
せ

教区一斉平和祈願ミサ

11日(日)

福音センターから

◆養成コース▼病人訪問コースⅡ
いやされるかわり 心の器づく
り 9月21日(土) 14時~22日

(日) 16時半 ウィチタ聖ヨゼフ修道会竜安寺修道院 講師 沼野尚美氏 参加費一万六千円

青年センターから

◆YES実行委員会 17日(土) 20時 青年センター▼スタッフ募集 中、詳しくは、青年センターまで、

問い合わせください。

教区委員会から

◆聖書委員会▼聖書深読 8月はお休み

▼聖書講座シリーズ 8月はお休み

▼聖書講演会(三重カトリック協議会後援) 9月16日(月) 三重県研宗館(ホール) テーマ 「アッ

小教区から

◆河原町教会▼被昇天準備早朝礼

拝5日(月)~10日(土)

◆典礼委員会▼主日のミサと教会の祈り 第一日曜日17時半 河原

バ父よ」講師 村上透磨師

◆河原町教会▼被昇天準備早朝礼

拝5日(月)~10日(土)

◆日本カトリックキリスト教研究会in京都公開講座▼テーマ「新しい福音宣教を考える」 7日(水) 島本要大司教「ヨハネ・パウロ二世教皇と新しい福音宣教」 8日(木) 大塚喜直司教「福音宣教する共同体になるために」 1京都教区「共同宣教司牧」の試み 1河原町教会地下ホール 申込先 電話 086(273) 2294 NCK事務局まで

地 区 協 議 会 か ら

◆滋賀地区湖西ブロック▼夏季学校 3日(土) 10時~4日(日) 14時 メリノールハウス

◆奈良カトリック協議会▼4日(日) 14時 平和句間「国際女性法廷について」(奈良カトリック協議会主催、奈良正平協賛) 発題者 松井やより氏 場所 奈良教会▼墓地ミサ 15日(木) 17時 御所教会

典礼 Q & A

典礼委員会では「典礼についての素朴な質問」に對し、応えることになります。たが、その前に、幾つかの共通理解を持っておきたいと思います。それは典礼と言ふ言葉が、解っている様で、非常にあいまいな理解の上に立っている様に思えるからです。

ここで「典礼とは」という定義をしようとは思いませんが、質問を聞きながら、これだけはしっかりと把握しておかなければならぬと思われることがあります。

①典礼は、キリストを通して示される神の現存のしるしであること。

②それは、キリストを頭とする神祕体である教会の共同体的行為(祝い)であること。

③しかも公的礼拝(祝い)であること。

したがって、個人的信業、秘跡以外の信心業、個人的祈り、伝統的なお祭りも、厳密な意味

では典礼とは言われません。次に大切なことは、この公的性を保つために、どこにその権威が委ねられているかと言うと、勿論ペトロを中心とした使徒達とその繼承である普遍的教会です。

そしてその普遍的教会は、また日本であれば日本の司教団と日本の教会の中に実現しています。典礼の刷新は、従つて司教団の指導によってなされますが「聖靈の働きと尊き」によるものであり、聖靈が司教団の権能と指導を通して働くものと考えられます。典礼という、教会の公の「証しとするし」となるこの礼拝行為は、聖靈の働きに導かれた司教団の指導のもとに実現して行くのです。聖靈の働きを信じながら司教団の指示に耳を傾けるのです。



教育関係施設から

◆聖母教育文化センター▼近畿のキリストン遺跡を訪ねて—四条畷・姫路・大和郡山・京都— 9月8日（日）13時 聖母学院 講演
三俣俊二先生 受講料 無料

◆暁星女子高等学校同窓会京都支部▼いのち豊かにコンサート9月23日（祝）13時半 河原町教会 入場料一千円 問い合わせ 仲川0774（22）6605

◆JOC▼集会24日（土）19時30分～21時 京都働く人の家（九条教会前）フリーターや、働く予定のある青年も歓迎します。問合せ090（8207）1831

◆京都力ナの会▼結婚相談室、例会8月はお休みです

◆京都カトリック混声合唱団▼練習日4日（日）14時 河原町会館 六階、24日（土）19時 河原町会館六階

◆京都キリストン研究会▼定例会8月はお休みです

◆コーエーチェレステ▼練習第2、第4、第5木曜日10時～12時 河原町会館六階ホール

◆子羊会▼合宿31日（土）～9月

諸施設・諸活動から

◆JOC▼集会24日(土) 19時30分～21時 京都働く人の家(九条)

◆京都力ナの会▼結婚相談室、例
会8月はお休みです

◆京都カトリック混声合唱団・純習日4日(日)14時 河原町会館
六階、24日(土)19時 河原町会館
館六階

◆京都キリストン研究会▼定例会
8月はお休みです

◆コーコーロチエレステ▼練習第2、
第4、第5木曜日10時～12時
河原町会館六階ホール
◆子羊会▼合宿31日(土)～9月

津教会創立二五周年
六月九日(日)ネリグ
突然見えたアイルランド
兄弟の司祭による記念感
サを中心にお祝い

三重ウオーカソン
4月29日(月・みどりの日)
参加者 二四二名、収益金
合計 一、四六一、五〇〇円
○ペルーのストリートチルドレン、○三重県在住の外国人
緊急支援ファンド、○三重ダルク、○アフガン難民支援に
等分に送金

◆レジオ・マリエ▼コミチウム
日(日) 河原町会館六階ホール
◆「一万匹の蟻運動」基金報告
累計 三三一、七二三、〇六四五

1日(日) 場所 滋賀県厚生年
金休暇センター

良書紹

『大好きなぼくのともだち』
JICC出版局
『ぼくの小さなともだち』

アンドレ・ダーハン

JICC出版局

講談社

ら、交わり遊びます。最後は大海にいる魚と水上にいる猫との口触れ合いで終わっています。

さて最近文章の入ったものが出
版され、それを見て、こうい
う意味だったのかなど、一つの
疑問に回答を得たのです。でも、
それを読んだ途端、文章をふさ
いで見ることにしました。
文章に一つの解釈が入り、そ

の考えに閉じこめられ、これで想像の世界が小さくなる。それは触れ合いの世界を縮めることがなってしまっている事に気付いたからです。

これは言葉への不信を述べて
いるのではありません。どうし
てどうして言葉は、人々にいの
ちを与えます。むしろ私はここ
で考えるのは、温かく、寛く、
優しい、人との触れ合いを、言
葉や考えや、思想が、縮めたり、

小さくしたり、冷たくしてしまってはいいかと反省してしまったのです。こうして、神様と私は私たちの触れ合いの温かさを想いめぐらしてみているのです。

大塚司教の

8月のスケジュール

- 1日(木)WYD (世界青年大会)
2002トロント大会から帰着
- 3日(土)比叡山サミット第十五回
(国立京都国際会館)
- 4日(日)比叡山平和の祈り第十五回
15時
- 5日(月)~7日(水)教区中学生広島巡礼 (広島平和ミサ)
- 8日(木)~10日(土)日本カテキスト会研修会
講演9時
- 11日(日)教区一斉平和祈願ミサ
平和祈願ミサ (河原町)
- 12日(月)共同宣教司牧推進チーム
第三回事務局会議14時
- 15日(木)聖母被昇天ミサ (河原町)
10時半
- 31日(土)第二回共同宣教司牧推進
チーム会議14時

◆お詫びと訂正 296号(7月号) 5ページ教区委員会担当司祭の記事に間違いがありました。

▼「カトリック学校連絡会」大塚

喜直(協力 三宅秀和)の「(協力 三宅秀和)」を抹消して下さい。

▼「日本カトリック看護教会」は、
「日本カトリック看護協会」に訂正して下さい。

以上お詫びして訂正いたします。



◎最近、感動することが少なくなつたように思えます。感受性が鈍くなつたのではなく、小事に動じなくなつたのであればいいのですが。(EH)

◆編集部から

お知らせに載せたい情報は、11月号でしたら8月19日までに、

FAXまたはEメールアドレス
henshu@kyoto.catholic.jp

にお願いします。

中学生会

新井由郁

ご存知かも知れませんが京都

教区では、春・夏・冬の年三回
中学生会の合宿を行っています。

合宿では、教区の各地から集ま
り、私達リーダーと共に様々な

事を考え、学び、そして遊んだ
りもしています。

私事になりますが、私も中学
生の頃合宿に参加していました。

中学生の頃は、ただ友達の中学生
やリーダー達に会えることが

楽しみでした。常連の中学生に
会ったり、初めて参加する中学生
に出会つたりと私にはとても

居心地がよく、毎回参加してい
ました。中学生会を卒業する時
も皆と別れるのが辛かつたこと

もありました。そして、大学生
になり、中学生会に再度リーダー
として参加することになりました。

様々な事を通じて私達リーダー
には、中学生たちに伝えたいこ
とがあります。先ず『考える』
ということです。合宿中は分か
ち合いなど嫌だと思うかもしれません。或いは、合宿が終わって楽しかったという気持ちだけが残るかもしれません。けれど、

私はその時はそう考えていても

良いと思います。高校生、社会

人になって中学生会のことを思
い出した時に、ふとそのことに

ついて再度、考えて頂けるだけ
で、とても嬉しいです。第二に、

私たちちは『愛』を伝えたいと思
います。『愛』とは分かりにく
い言葉です。リーダー達の中学生
に対する愛、神様の愛、友達

の愛があります。それを感じて
欲しいと思います。

その中学生会の夏合宿が、8
月二十日~二十二日まで、ノー
トルダム中・高山の家鶴野ハ
ウスで行われます。盛りだくさ
んのプログラムを企画していま
す。たくさんの参加申し込みを
お待ちしています。併せて、中
学生会のリーダーをしていただ
ける青年を広く募集しています。

合宿の詳細など中学生会に関す
るお問い合わせは青年センター
までお願いします。

青年センター
火曜~土曜午後二時~九時
電話〇七五(八二二)六二四六